

浅沼組の名古屋支店改修PJが 第21回環境・設備デザイン賞の最優秀賞を受賞

株式会社浅沼組（本社：大阪市、代表取締役社長 浅沼誠）の名古屋支店改修PJが、このたび一般社団法人建築設備総合協会が主催する2022年度の第21回環境・設備デザイン賞の第II部門：建築・設備統合デザイン部門において、最優秀賞を受賞しました。

環境・設備デザイン賞は、建築設備分野において従来あまり意識されることのなかった審美性などの「感性」に関する要素に焦点をあて、これに「機能性」「経済性」と環境問題も視野に入れた「社会性」を加えた4つの評価軸により、総合的かつ客観的な評価を行うもので、環境・設備デザインに的確で客観的な評価が広く一般社会に公開され、認知されるよう、優秀な「環境・設備デザイン」に対して賞を贈って表彰することを趣旨とするものです。

そして第II部門：建築・設備統合デザイン部門は、「設備機器、システムが調和的、機能的に統合化されている環境建築を対象とする部門」です。第II部門の応募件数14件の中から本PJが最優秀賞に選ばれました。当社では今回の受賞を励みに「環境配慮型リニューアル」としてより一層、「人間にも地球にもよい循環」をつくっていけるよう取り組んでまいります。

□ 受賞作品名：GOOD CYCLE BUILDING 001 浅沼組名古屋支店改修PJ

□ 受賞作品 選評：築30年を経過した8階建て自社ビルの『環境配慮型リニューアル・プロジェクト』である。その徹底した手法は、これからの社会に必要とされている本質的なサステナビリティとは何なのか、という課題と真正面から向き合った結果生まれた多様さ、奥深さを持っている。（中略）建築家と建設会社が『都市における「循環」の中に建築を位置づける』ことを目指し強力なタッグを組んだ結果生まれた建築であり、9名の審査員全員が票を入れ、うち7名が◎とした圧倒的な最優秀賞である。（主催者発行の報告書より抜粋）

□ 設計：株式会社川島範久建築設計事務所+株式会社浅沼組

□ 第21回環境・設備デザイン賞 概要

第I部門：設備器具・システムデザイン部門（部門応募件数 17件）

汎用性のある設備器具・設備機器・設備システムを対象とする部門

第II部門：建築・設備統合デザイン部門（部門応募件数 14件）

設備機器、システムが調和的、機能的に統合化されている環境建築を対象とする部門

第III部門：都市・ランドスケープデザイン部門（部門応募件数 12件）

建築とランドスケープの調和、都市空間や広場の提案など、より広がりのある地域や空間・環境を対象とする部門



□ 第21回環境・設備デザイン賞 受賞作品一覧（最優秀賞・優秀賞）

第Ⅰ部門：設備器具・システムデザイン部門	
最優秀賞	MELRemo-IPS 代表応募者：(株)三菱地所設計/平須賀 信洋
優秀賞	ビッグテーブル「シルタ (Silta)」 代表応募者：(株)イトーキ/清水 俊也
優秀賞	施工図描画ロボットによるワークフロー変革 代表応募者：新菱冷熱工業(株)/齊藤 恒英
第Ⅱ部門：建築・設備統合デザイン部門	
最優秀賞	GOOD CYCLE BUILDING 001 浅沼組名古屋支店改修PJ 代表応募者：(株)川島範久建築設計事務所/川島 範久 (株)浅沼組/石原 誠一郎
優秀賞	高砂熱学イノベーションセンター 代表応募者：高砂熱学工業(株)/木村 健太郎
第Ⅲ部門：都市・ランドスケープデザイン部門	
最優秀賞	WITH HARAJUKU 代表応募者：(株)竹中工務店/伊藤 宏樹
優秀賞	柳川市民文化会館 水都やながわ 代表応募者：(株)日本設計/前田 哲
優秀賞	リーフィアレジデンス橋本 代表応募者：(株)長谷工コーポレーション/多田野 高広

一般社団法人建設設備総合協会 Web サイト, 環境・設備デザイン賞
<http://abee.or.jp/designaward/>



お問合せ先

〒569-0034 大阪府高槻市大塚町3丁目24番1号

株式会社浅沼組 技術研究所 立松 和彦

TEL 072-661-1620 FAX 072-661-1730

E-mail:tatematsu-kazuhiko@asanuma.co.jp